

オオバツツジ

Rhododendron nipponicum Matsum.
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は9箇所である。県内の生育地は分布の南限と考えられる。県内での生育地は限られているため、要注目とした。

分布

本州（秋田県～福井県の日本海側）に分布。県内では、坂井市、勝山市、大野市、南越前町で確認されている。

種の特徴

深山の湿った低木林内や湿原に生える落葉低木。高さ1～2m。葉は薄く、大きく、枝先に集まってつき、無柄。7～8月頃、枝先の1個の花芽から5～10個の花をやや散形状に開く。花冠は黄白色で先は赤色を帯び、筒形。雄蕊は10本。

生育を脅かす要因

生育地の開発。植生遷移による生育環境の悪化。

参考文献 佐竹義輔（1989b）、福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○			○				○	○	

アラゲナツハゼ

Vaccinium ciliatum Thunb.
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は2か所である。県内の生育地は分布の北東限と考えられる。前回の調査では取り上げられなかったが、今回、新たな標本が確認された。カテゴリーを判断するための情報が不足しているため、要注目とした。

分布

本州（福井県以西の日本海側）に分布。県内では、永平寺町、若狭町で確認されている。

種の特徴

低地の森林の林縁に生える落葉低木。高さ約2m。葉柄はごく短く、短毛がやや密に生える。葉は広楕円形、裏面全体に細かい毛がやや密に生える。5～6月頃、若枝の先に細い総状花序を伸ばし、下向きに多数の花をつける。花冠は鐘形、浅く5裂し、先は反曲する。

生育を脅かす要因

生育地である森林の開発。植生遷移による生育環境の悪化。

参考文献 佐竹義輔（1989b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○									○							

ナンバンギセル

Aeginetia indica L.
アカネ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

ススキ草原の減少とともに、減少傾向にある。

分布

北海道～琉球に分布。県内では若狭町、美浜町、敦賀市、あわら市、鯖江市、福井市、大野市での記録がある。

種の特徴

ススキやミョウガなどの単子葉植物の根に寄生する一年生草本。茎は短く、ほとんど地上に出ず黄褐色。葉腋から長さ5～30cmの花柄を1～8本伸ばし、その先に淡紫紅色の筒状花が横向きに開く。花期は8～9月。

生育を脅かす要因

草地開発、植生遷移。

参考文献 福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○		○							○	○		○	○